

※用語解説

[インターフェロン]

体内で産生されるウイルス攻撃物質で、体外から大量に注射してC型肝炎ウイルスを攻撃させます。インターフェロンの効果が長く続くように工夫したのがペグインターフェロンです。ペガシス®、ペグイントロン®の2剤があります。

[リバビリン]

ウイルスを攻撃する薬です。リバビリンのみでは効果が弱いですが、インターフェロンと一緒に使うと効果が強まります。レボトール®、コペガス®の2剤があります。

[プロテアーゼ阻害剤]

C型肝炎ウイルスが増殖するためには「プロテアーゼ」という酵素が必要です。この酵素に結合して働きを止め、新たなC型肝炎ウイルスが生まれて増えないようにするのが「プロテアーゼ阻害剤」です。プロテアーゼ阻害剤は、ペグインターフェロン、リバビリンと一緒に3剤併用療法として使います。テラビック®、ソブリアード®の2剤があります。ちなみに、吉幾三さんはソブリアード®の会社の宣伝をしています。

内科・循環器内科・リハビリテーション科

森 医 院

<http://www.moriiin.com/>

〒500-8322 岐阜県岐阜市香取町 3-48 TEL : 058-251-4452

院長のブログ

<http://blog.livedoor.jp/moriiin5656/>

ケータイ版はこちら→



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
午後 4:00~ 7:00	○	○	○	/	○	/	/

森医院通信

やまいのはなし

2014年8月号

Pickup!

(9)小柴胡湯(しょうさいこうとう)

構成生薬	さいこ おうこん にんじん はんげ かんぞう しょうきょう たいそう 柴胡, 黄芩, 人参, 半夏, 甘草, 生姜, 大棗
効果・効能	体力中等度で上腹部がはって苦しく、舌苔を生じ、口中不快、食欲不振、時により微熱、悪心などのあるものの次の諸症

1. 諸種の急性熱性病、肺炎、気管支炎、感冒、胸膜炎・肺結核などの結核性諸疾患の補助療法、リンパ腺炎、慢性胃腸障害、産後回復不全
2. 慢性肝炎における肝機能障害の改善
小柴胡湯という、今から25年ほど前は2の慢性肝炎患者さんによく投与されていました。しかし、インターフェロンと併用すると間質性肺炎という重症合併症が起こりやすいことが分かり、現在ではほとんど使われなくなりました。
もともとこの方剤は、急性期を過ぎた風邪に使われます。最初は喉の痛みだけだったのが咳を伴うようになったとき、そう、風邪をひいて3、4日経ったところで、この時期に右上腹部を抑えると胸脇苦満といわれる痛みがあり、舌には白い苔がみえます。これらの所見を指標に投与すると、喉の痛みや咳が和らぎます。